根源實紫（こんげんみむらさき）十五

上の巻

根源實紫

上巻

笠亭仙果作

梅蝶樓國貞画

泉喜太板

石山寺ハ参籠若て源氏を作さ物と計一向に心得しハウニコウルて獣角也
思ひし昔のさ今や段々理を究め大地ハ独の如きものと説ハ疑ハ者曾く
なく〳〵不二乃山も孝子の御代でハもそも人信ぜず然ハ有とも空言ハ又虚誕ぶ
通て抱の水草造紙とさて哭ぶりや笑ふりして悦ぶハ道理の外ハ娯樂なく紙
吾黨乃幸ありとを以て名まを侶を実紫ハ傍紫の面影ハ倣へとと板元
数注文あるとて其田縁ハ絡るといとひて年々ハ延しあきらが紫式部の後家
になる話も已ハ近づくれば是より華ハいろ〳〵薄ら花實勝の所ハ雅蒙達の
必適意まとと今ハ浅ね田舎染彼紫筆を摘出て源氏乃大意を遠こ
らを書とるやうに結構なれば其傳を写繪も御剛熟多きをかあて十七編
なのあり〳〵桐壺箒木と記出さんとつくるハ石山ゆ〳〵ぬ和ハ蒲團の
形の東山を窓ありそく京極の家ハ筆とうをあいぐれの大御時ハ〳〵と書

いろはのはしらはまろ女はしらはいあまさかめくひ給けるあらにいとやむとなれきふまきあらぬゐをくれとさきめれ給ふありきりそ発ありのうれさそひあがり給るはるくる発さあのりあらめそれを給あれしはとそれあをけらうろうらいそちハきりとやまろびあさゆふの

式部丞
惟規

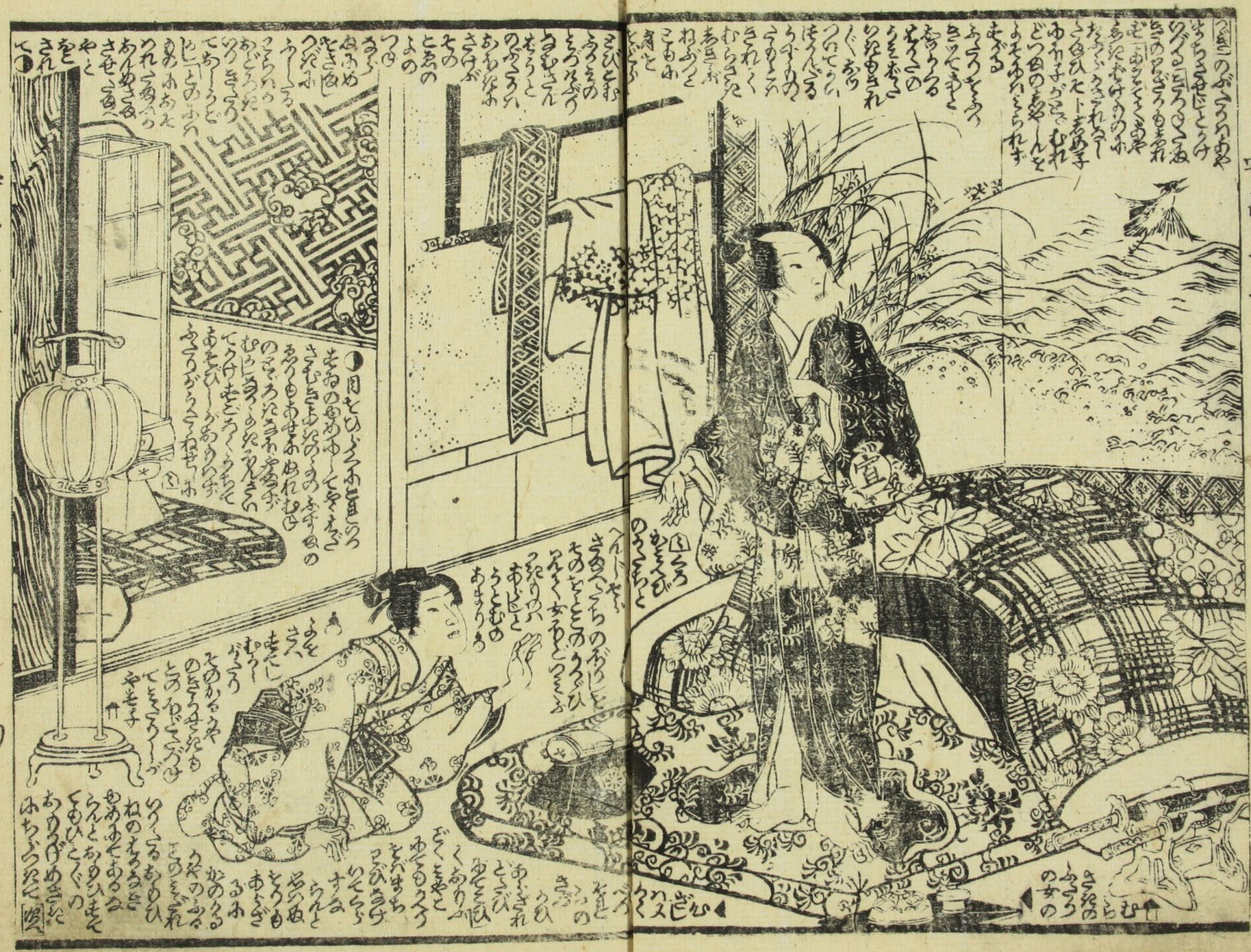
のぶのりハ北國ゑそ没りしよ
十訓抄難後
拾遺等ゐ
ひえとれど
此草紙ゐハ
長壽せし
ゆうふ
あるも

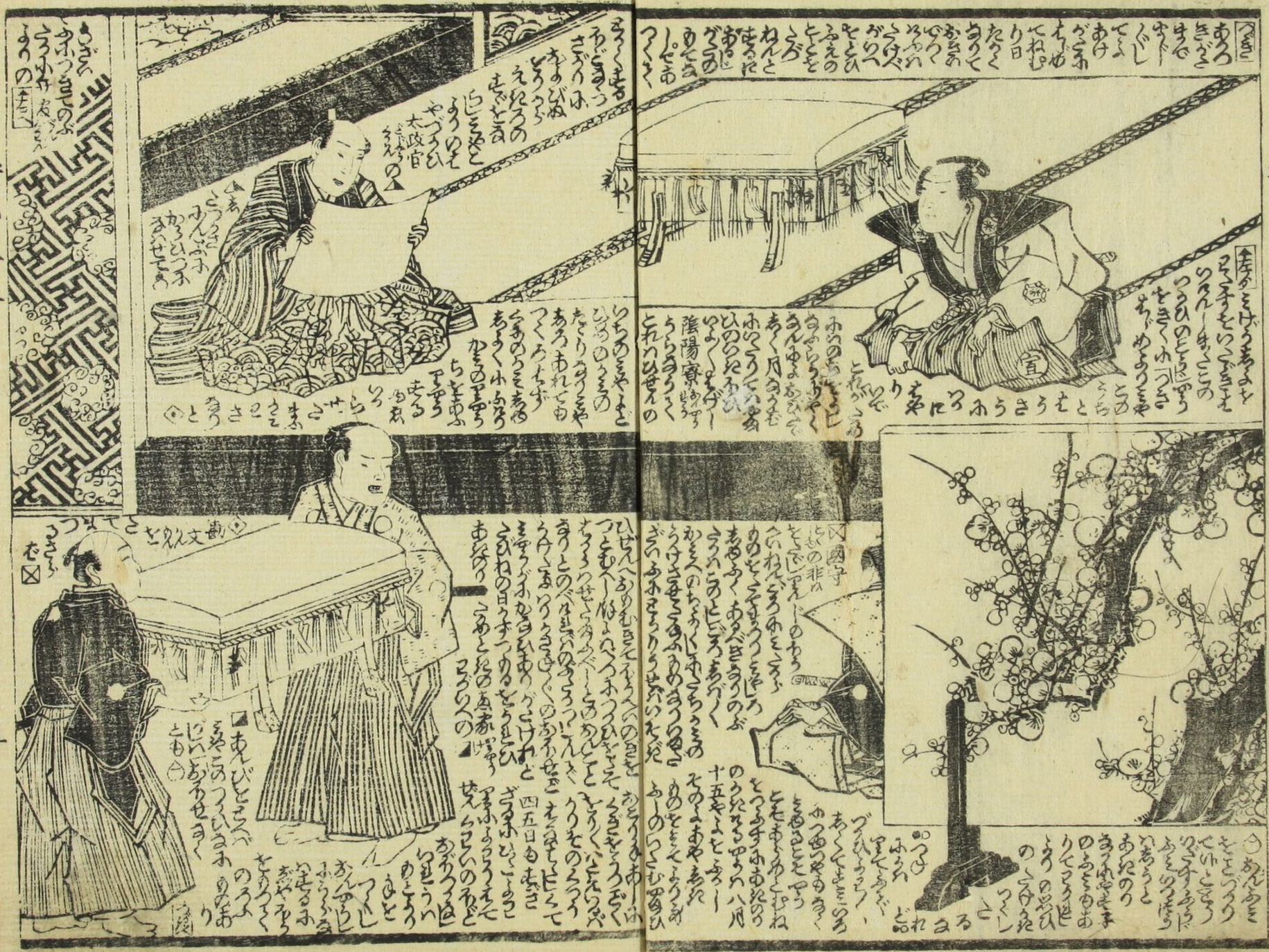
齋院の少將

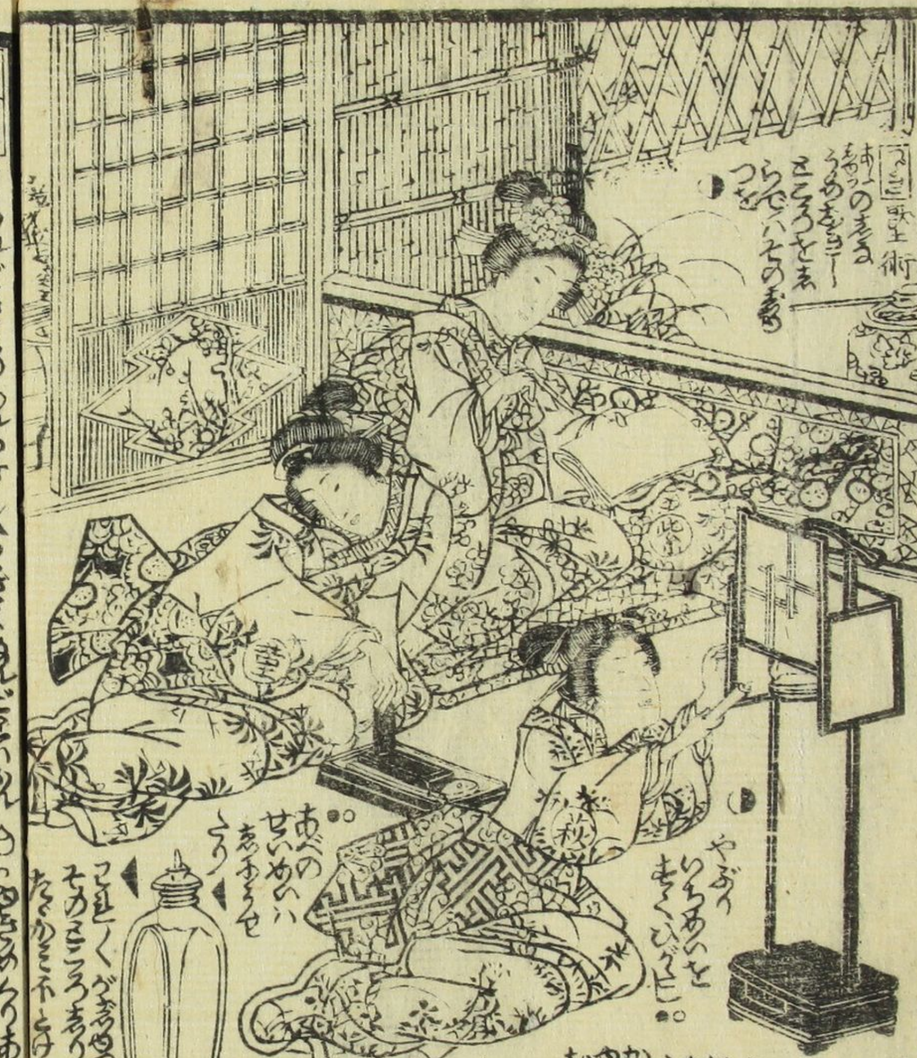
出したるその巻の繪をもて口画の補景とせるも猶一角の堅〜と誹き
手毬つく子や不二額の姉さんゆの跡まれぬさくや

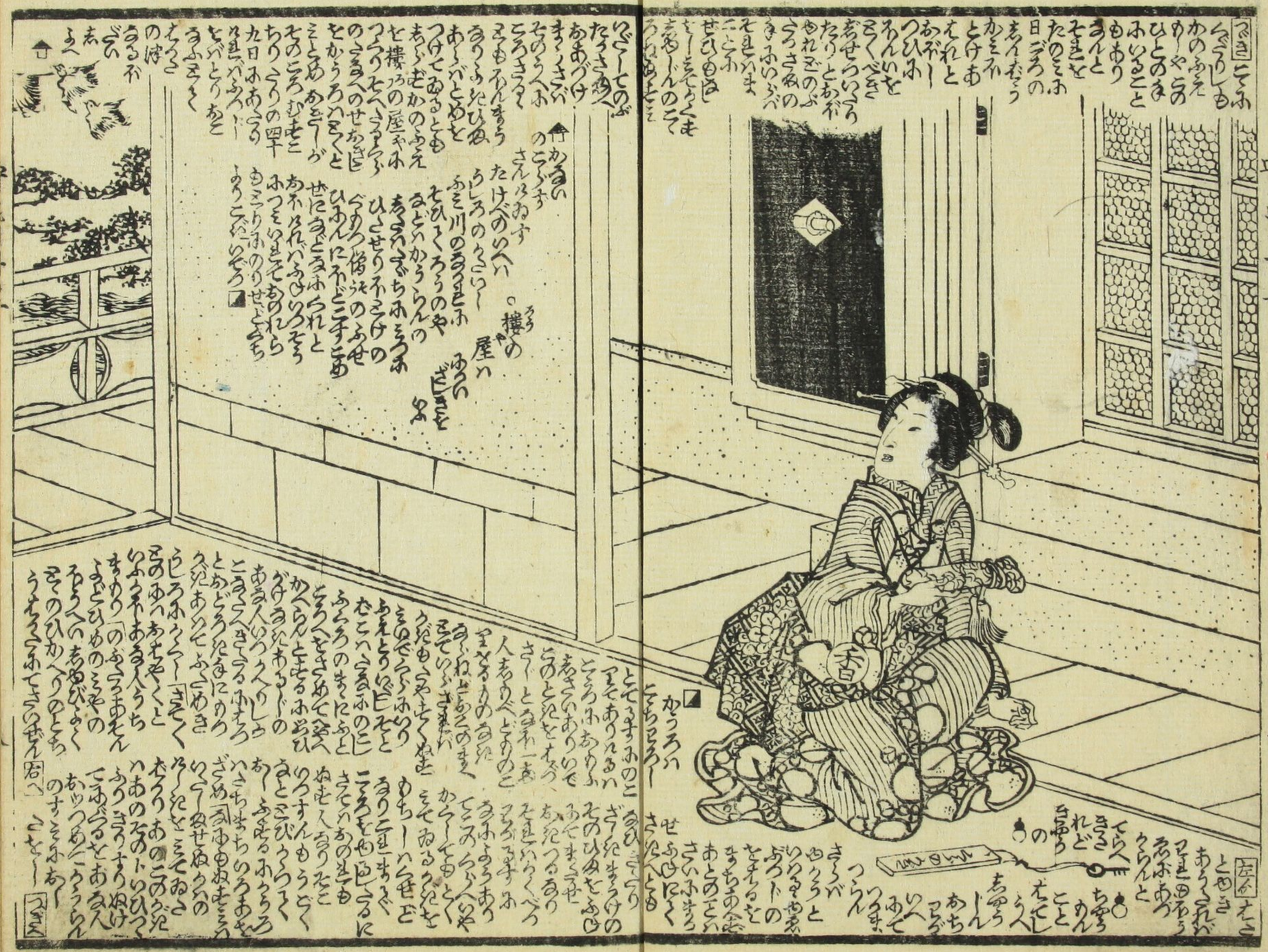
壬戌春新刊

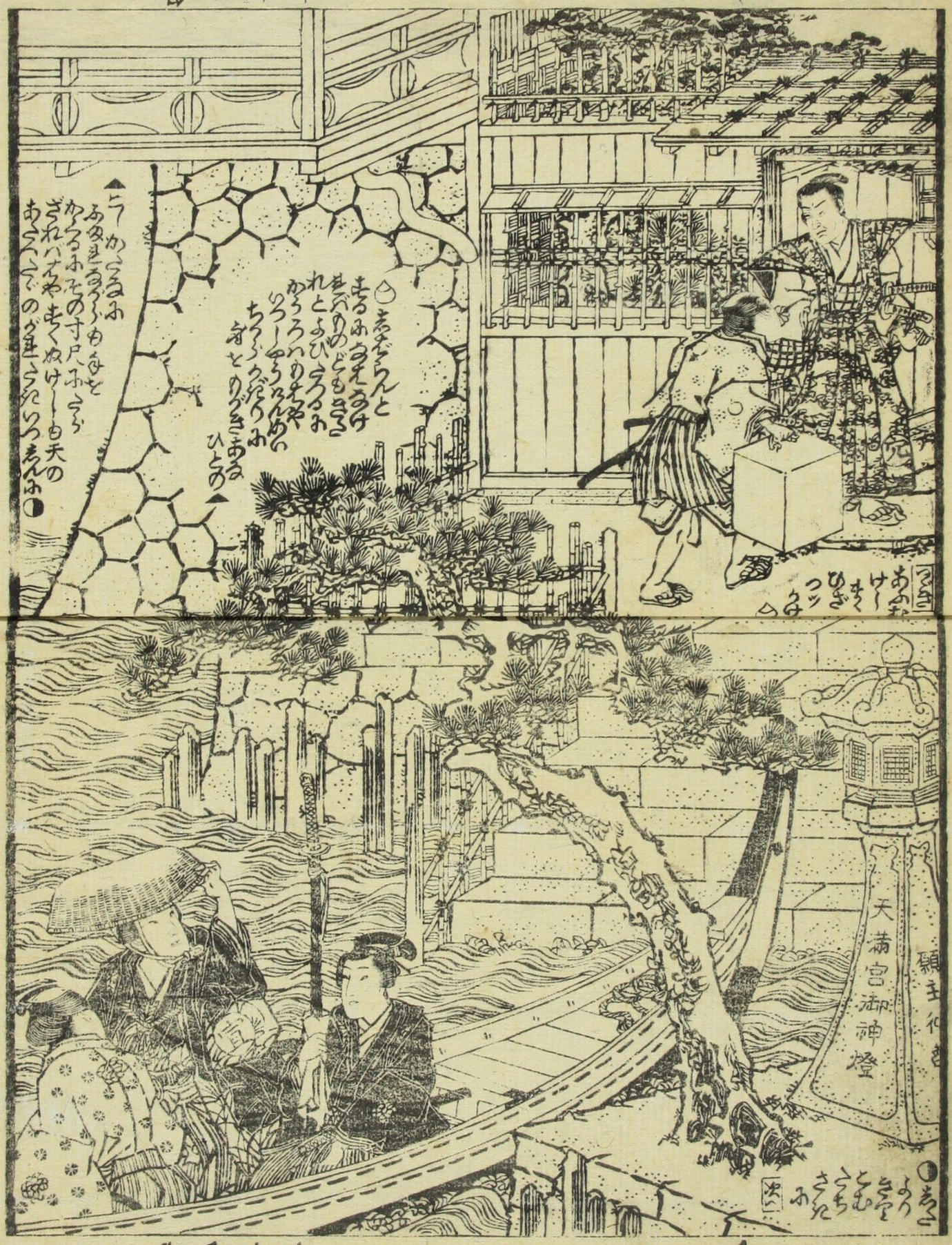
柳亭種彦

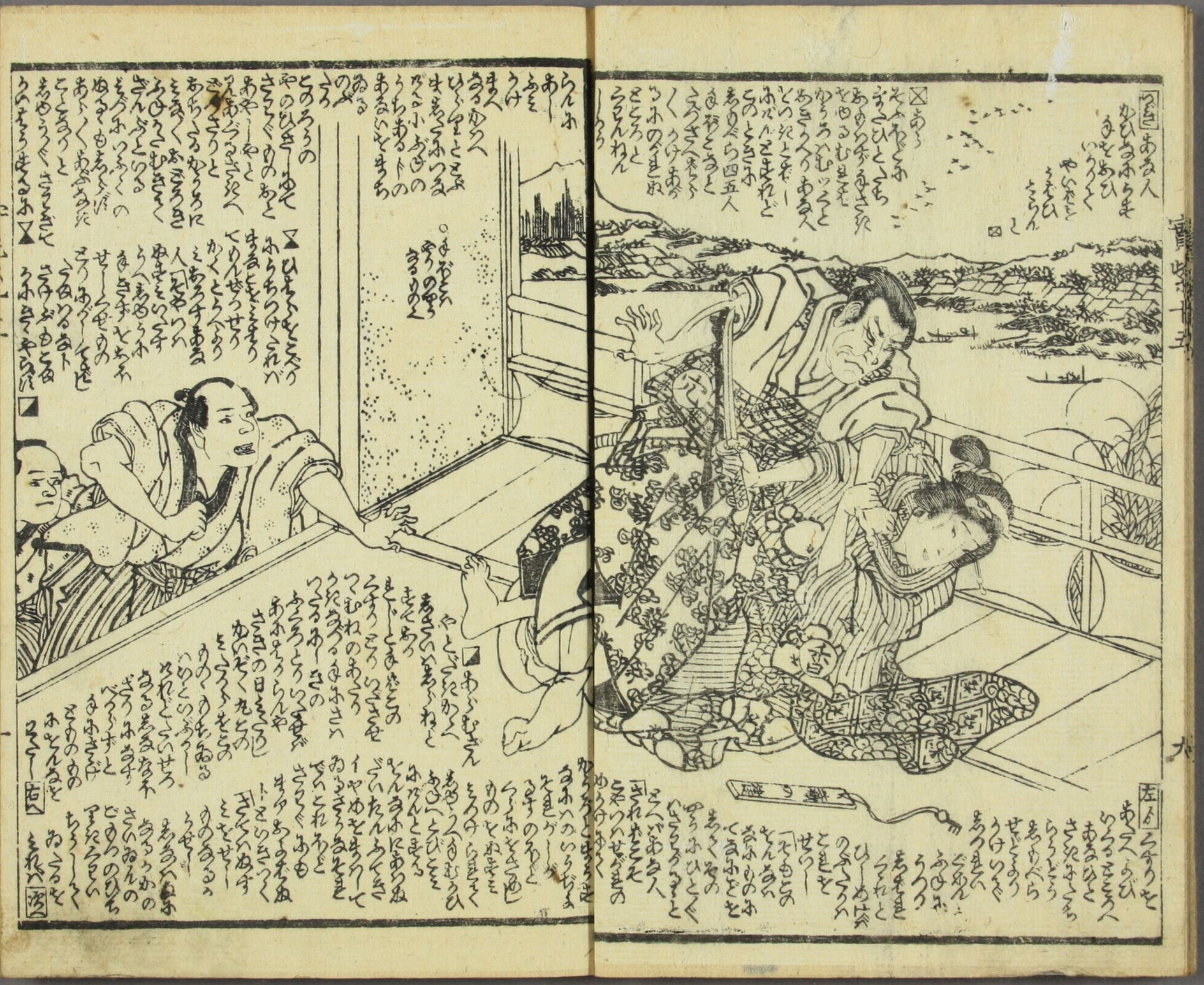









天満宮御神燈



曲亭馬琴作

新編金瓶梅全傳　十篇大尾　為永春水作

黄金水大盡盃

同　女郎花五色石臺　十篇大尾　柳亭種彦作

琴聲義人録

同　小女郎蜘蛛怨苧環　三篇大尾　笠亭仙果作

根源實紫

柳下亭種員作

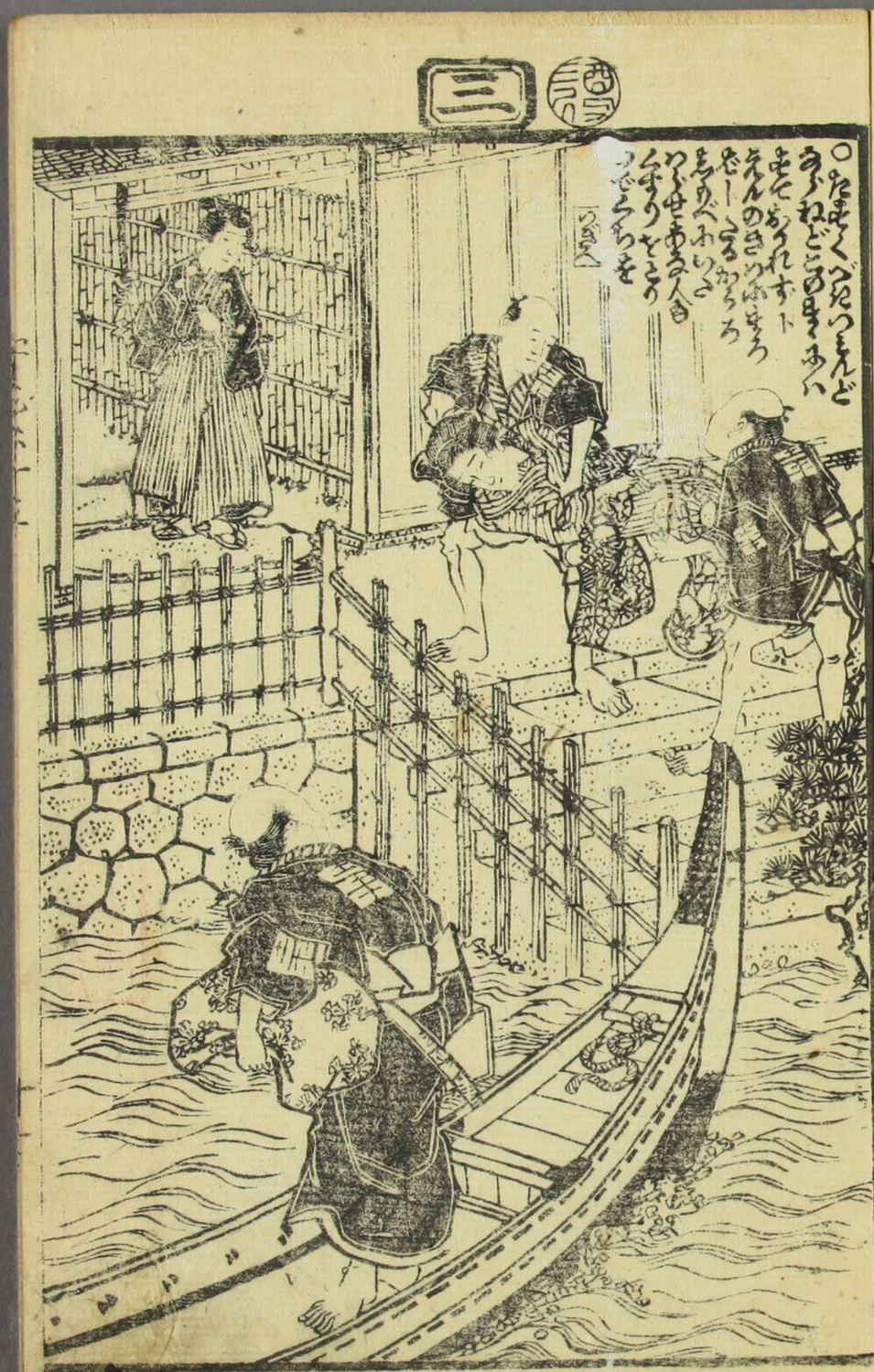
児雷也豪傑譚　柳煙亭種久作　假名反古

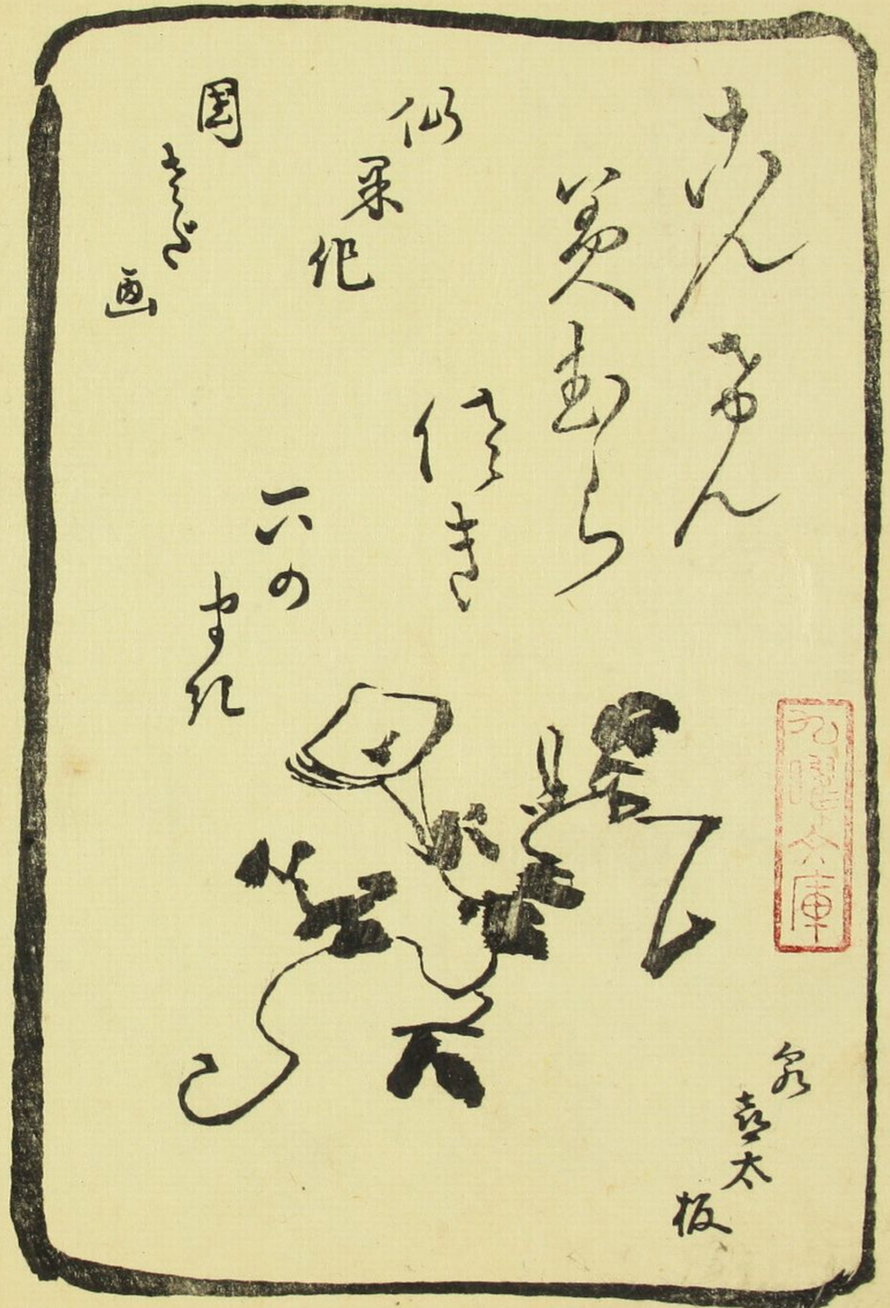
一休草紙

根源實紫（えんげんみむらさき）

十五

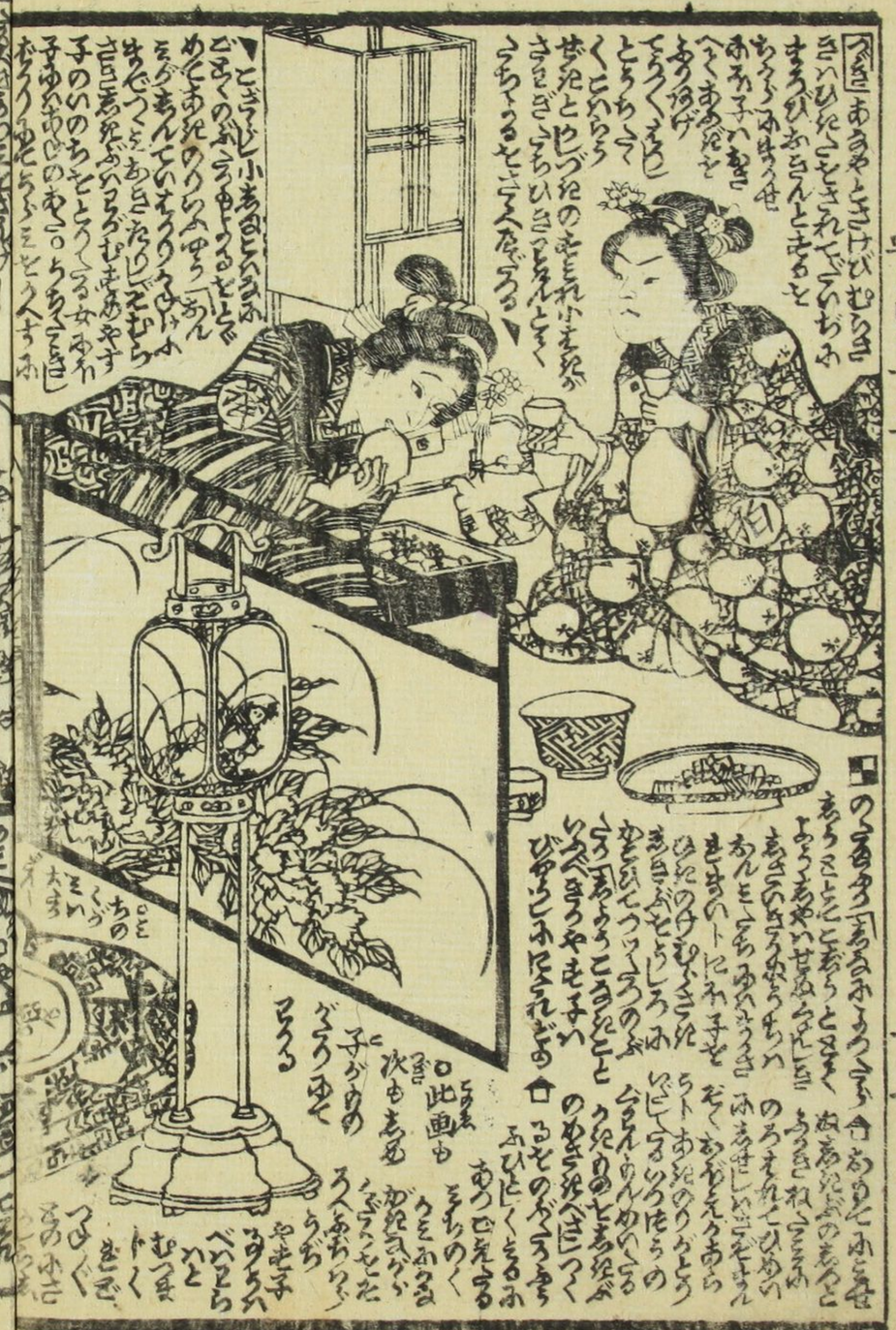
下の巻

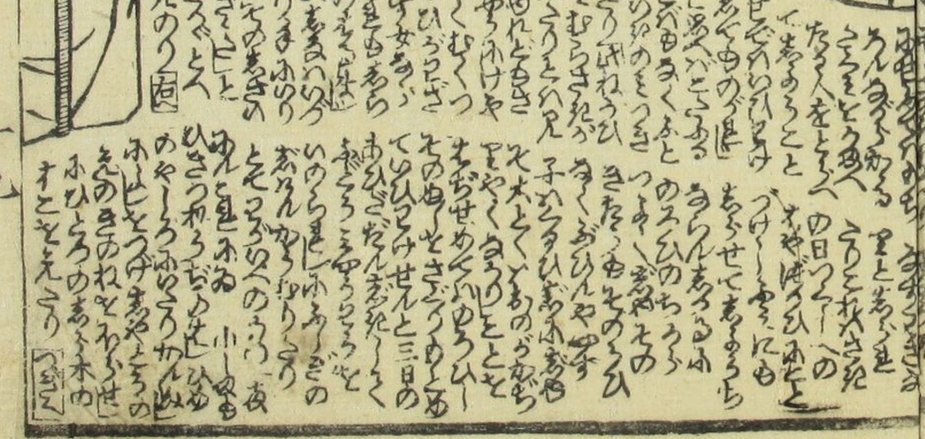

三


仙果作
国さと画
彫喜太板

行無常是生死法
城之已所成長業
須
宣

橋姫社
寿





種彦作

國貞画

十六編

善悪黒白判然と

これまでの

まぢ大き

おまび

十返舍一九作
滑稽道中膝栗毛

柳水亭蘭水作
豊時田秋濃新雁
三篇大尾

柳水亭種清作
不思議塚小説櫻

柳水亭種清作
猛田姉妹新白石
同

同
風俗淺間ヶ嶽

関太郎鈴ヶ譚
五篇大尾

京橋区銀座四丁目三番地
出版人 山中喜太郎